

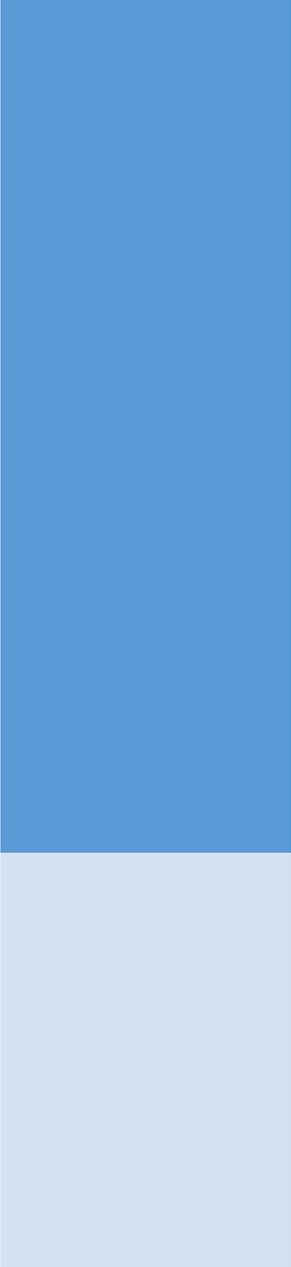
ActiveActivity 対話の架橋 第2話

萬屋副市長との対話

R5.10.26 (木)



メンバー
文化振興課 河西
市民協働課 藤原
課税課 小笠原
行政総務課 東



目的

入庁10年未満の職員が副市長との対話を通して、市の方針や副市長の思いを聞くことで、業務に対する理解を深める。

対話の内容をご紹介します



Q1 島田市で働こうと決めた理由は？

長寿介護課 村松主事

好きな島田の〇〇：八木菓子舗のみそまんじゅう

・一番は市長の熱意。「副市長として一緒にやってみましょう」と声をかけていただいたこと。



好きな島田の〇〇：人のあたたかさ

対話の内容をご紹介します



Q2 おすすめの本は？

子育て応援課 山内技師

好きな島田の〇〇：お茶のさすき園のさすきランド

- ・政治、経済、社会に関わる仕事の課題解決の参考となるような本を読んでいる。
- ・他にもチャットGPTに関する本など、仕事に活用できる知識を浅く広く収集している。



対話の内容をご紹介します



Q3 大人になってからチャレンジしたことは？

DX推進課 氏原書記

好きな島田の〇〇：雨の日の霧に浮かぶ蓬莱橋

- ・ 財務省にいたころは毎日が激務で何かにチャレンジする余裕もなかった。
- ・ 今後は楽器に挑戦してみたいと思っている。
- ・ 今は単身赴任だが、3～4か月に1回自宅に帰った際は娘の部屋にある電子ドラムを叩いてみることも。



参加者の気づき



副市長になった経緯や副市長になる前にされていたことのお話が印象的だった。普段は部長以上の方とお話をする機会があまりないので、副市長の業務のことやプライベートなことを聞くことができ、参加してよかったと感じた。



市政を担う副市長と対談できる機会がめったにないと思うのですが、各部署の話、そこで働く一人ひとりの職員の話に耳を傾け下さり、その先の市民を大切にいただいているのだと心から感じました。
アカペラがとてもお上手で、いい声で、びっくりしました。
萬屋副市長の歌声で敬老会が盛り上がる様子が目に浮かびました。



末端の職員のこと「それぞれの分野のプロ」と言っただけで、萬屋副市長からのリスペクトが伝わってきてすごくありがたいことだなと。もっと担当業務について知識を深めていかなければと思いました。



次回は、牛尾副市長との対話の予定です。
楽しみに！